

<分院消化器内科>

一般（教育）目標

一般的な消化器疾患について理解し適切に対応する
内科医としての見解を深め必要な技量を身につける

（具体的）行動目標

(1) 基本姿勢

- (ア) 主に消化管疾患について病態を把握し、初期対応ができるようになる
 - a 消化管悪性腫瘍
胃癌、食道癌、大腸癌
 - b 消化管出血
胃・十二指腸潰瘍、Mallory-Weiss 症候群、大腸憩室出血、直腸潰瘍など
 - c 炎症性腸疾患
潰瘍性大腸炎、Crohn 病
 - d その他の消化管疾患
イレウス、大腸憩室炎、感染性腸炎など

(2) 診察・検査・手技

- (ア) 病態把握のために必要な病歴聴取、身体所見をとることができる
- (イ) 鑑別診断を行うことができる
- (ウ) 診断につなげるための検査計画を立てることができる
- (エ) 検査データが解釈できる
- (オ) X 線診断・内視鏡診断を行うことができる
- (カ) 検査の選択、鑑別方法、治療の選択、患者さんへの説明ができる

(3) 症状への対応、治療

- (ア) 全身管理を行うことができる
- (イ) 治療について理解し、治療計画を立てることができる

学習方略（1）

- (1) 上級医の指導のもと、入院症例の診察を行う
- (2) 症例検討会で受け持ち症例のプレゼンテーションを行う
- (3) 受け持ち症例の検査・治療に積極的に携わる
- (4) 内視鏡診断カンファレンスに参加し、読影技術を高める

週間予定（例）※随時、病棟業務、他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前					
午後			症例検討会	症例検討会	

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇄指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること